

第4学年 ESD 国語科学習指導案

平成28年10月17日(月)第5限

- 1 単 元 だれもが関わり合えるように (本時13、14／15)
- 2 本時の目標
 - (1) 相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方の工夫を考えて話すことができる。
 - (2) 話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり、感想を述べたりすることができる。
- 3 人権教育上の観点
 - ・ 友達の発表をきちんと聞き、共感的に受け止める態度を育てたい。(視点④)
- 4 指導過程

段階 時間	学 習 活 動	・留意点 [支] 支援 [人] 人権教育的配慮 評価
めあてを知る 10分	1 前時を振り返る。 ・めあての視点 ・自分のめあて 2 本時のめあてを知る。 聞き手を引きつける発表になるように発表の練習をしよう	・めあての視点を思い出す。 ・自分のめあてとその理由を考える。
考え確かめる	3 個人の練習をする。 ・音読記号をつける ・練習をする。 4 グループで発表を聞き合い、アドバイスをする。 ・「よかったところ」「工夫するとよいところ」をふせんに書く。	・音読記号の例を参考に原稿に書き入れていく。 [支] ただよどみなく話すだけで聞き手を意識しない話し方にならないように、間を取る、聞き手を見るなどの工夫を取り入れさせるよう声かけをする。 ・話す前に自分のめあてを言ってから始めるようにさせる。 ・アドバイスのポイントを確認する。 ・よかったところを積極的に伝え合うようにさせる。 ・アドバイスされたことをメモさせる。
公開 73分	【14時間目はここから】 5 全体で話し合う。 〈認識の高まり場面1〉 多様な視点に立って対象を見る。 ・めあての視点について、意見を出し合う。 6 よいところを取り入れ個人の練習をする。 7 グループで発表し、意見を交換する。 〈認識の高まり場面2〉	・自分の発表に生かすことができるか考えながら友だちの意見を聞く。 ・アドバイスや全体での話し合いを通して、新たな自分のめあてを考える。 [人] 友達の発表を聞き、共感的に受け止めるように声かけする。④ ・アドバイスされたことを少しでも取り入れるよう努力してほしいことを伝える。 ・よくなったところを中心に話し合う。

	視点を定めて前後の違いを らえる。 ・ 発表を聞き、ふせんに◎○ を書き入れる。	【関心・意欲・態度】 ・ 話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり、感想 を述べたりすることができたか。(発言、行動観察) 〔Cの状況への手だて：アドバイスのポイントを 思い出させる。〕
深 め る 7分	5 本時の学習を振り返る。	・ 本時の感想を書く。 ・ 本時で学習したことを生かして、発表すること を伝える。

6 反省

7 高評